

標準委員会 システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会
第 21 回統合的安全性向上分科会議事録

1. 日 時 2019 年 7 月 5 日 (金) 13:30~17:00

2. 場 所 JANSI (三田ベルジュビル 13 階) 第 1 / 2 会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 上野副主査 (三菱総研), 倉本幹事 (NEL), 石崎委員 (東電 HD),
伊藤委員 (中部電), 佐々木委員 (関電), 鈴木委員 (原安進),
曾根田委員 (日立 GE), 高橋委員 (MHI),
中村委員候補 (原電), 平川委員 (元原安進),
藤井委員候補 (関電; 合田委員代理), 三村委員 (東芝 ESS),
与能本委員 (JAEA)

(13 名)

(常時参加者) 伊藤 (NRA), 鎌田 (原安進), 白井 (電中研), 坂口 (北陸電; 東山代理),
関 (GNESC; 候補), 田門 (関電), 西紋 (四国電), 福井 (九州電; 候補),
藤崎 (関電; 候補), 松田 (電発), 松本 (北海道電; 候補), 山本 (原燃)

(12 名)

(傍聴者) なし

4. 配布資料

S3SC21-1 第 20 回統合的安全性向上分科会議事録 (案)

S3SC21-2 人事について

S3SC21-3-1 IRIDM 標準原案 (公衆審査版)

S3SC21-3-2 IRIDM 標準原案に関する標準委員会・専門部会の審議経緯

S3SC21-3-3 IRIDM 標準原案に対する公衆審査での意見 (2019/7/5 時点)

S3SC21-4 IRIDM 標準原案 引用文献及び転載許諾リスト

S3SC21-5 定期安全レビュー標準の扱いに係る今後の対応方針について (案)

S3SC21-6 標準委員会技術レポート “日本原子力学会標準 原子力発電所の安全性
向上のための定期的な評価に関する指針：2015” のより良い理解のために
(案) (2019/7/5 版)

S3SC21-7 検討スケジュール

参考資料：

S3SC21-参考 1 統合的安全性向上分科会 委員名簿

添付資料：

高浜発電所 3 号機の安全性向上評価届出書の概要

5. 議事内容

倉本幹事より、議事に先立ち、代理委員を含めて委員 17 名中 13 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 資料確認、前回議事録の確認 (S3SC21-1)

議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

また、第 20 回分科会議事録(案)の確認を行った。特に異議なく、この内容で正式な議事録とすることが承認された。

(2) 人事について (S3SC21-2, S3SC21-参考 1)

資料 S3SC21-2 を用いて、以下の人事案件の確認及び審議を行った。

委員選任及び常時参加者登録に係る審議については、出席委員全員一致での承認を得た。

- ・ 委員の退任【報告事項】
 - 笹 淳一 (日本原子力発電)
 - 合田 克徳 (関西電力)
- ・ 委員の選任【承認事項】
 - 中村 太一 (日本原子力発電)
 - 藤井 康充 (関西電力)
- ・ 常時参加者の登録解除【報告事項】
 - 野村 治宏 (関西電力)
 - 野崎 拓馬 (原電エンジニアリング)
 - 中村 太一 (日本原子力発電)
 - 江藤 和敏 (九州電力)
 - 石黒 祐介 (北海道電力)
 - 小林 健太 (北海道電力)
 - 喜多 利亘 (東京電力ホールディングス)
 - 山中 勝 (日本原子力発電)
 - 香川 明彦 (四国電力)
 - 田辺 恵三 (東京電力ホールディングス)
- ・ 常時参加者の登録【承認事項】
 - 藤崎 恭史 (関西電力)
 - 関 智矢 (原電エンジニアリング)
 - 粥川 正純 (北海道電力)
 - 新田 慶 (北海道電力)
 - 松本 大朗 (北海道電力)
 - 櫻井 康広 (日本原子力発電)
 - 福井 敏洋 (九州電力)
 - 水野 聡史 (東京電力ホールディングス)

(3) IRIDM 実施基準案に関する標準委員会・専門部会の審議経緯 (S3SC21-3-1, S3SC21-3-2)

倉本幹事より、各資料を用いて、IRIDM 実施基準案の第 75 回標準委員会以降、公衆審査にかけられる迄の標準委員会・専門部会の審議経緯が説明された。

特に質問、コメントは無かった。

(4) IRIDM 標準原案に対する公衆審査での意見の確認及び対応の審議 (S3SC21-3-1, S3SC21-3-3)

倉本幹事より、資料 S3SC21-3-3 を用いて、IRIDM 実施基準案に対する公衆審査において分科会開催時点でいただいている意見 (2 件) の紹介が行われ、その対応方針につき審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 公衆審査への対応に係る専門部会及び標準委員会への報告の進め方に関して、システム安全専門部会報告 (8/6 予定) 時点では、公衆審査 (8/9 迄) が終了しておらず、正式な対応完了しての報告はできないが、その時点迄の公衆審査意見への対応につき説明をして条件付きの御承認をもらい、その後の追加対応はメール審議等で御確認頂く様な段取りで進める方針を、分科会として確認した。
- ✓ システム安全専門部会には、この進め方につき事前に打診して調整を行っていく様にする。
- ✓ 意見 1 への対応については、この実施基準は性能目標を明示することを目的としておらず、旧原子力安全委員会及び原子力規制委員会の性能目標はこの実施基準において、あくまで一つの例示、参考であるということをもとに最初説明した上で、意見者の御指摘にこたえるべき、原子力規制委員会の性能目標についても記載を加える様に修正をしていく方針とすることとなった。
- ✓ 安全目標及び性能目標がこの実施基準の中でどういう位置付けにあるかによるが、解説 15 のタイトル“安全目標及び性能目標”だけを見ると、原子力規制委員会の性能目標に一切触れないのは不適切であると感じられるという意見があった。
- ✓ 解説表 3 の記載は、原子力規制委員会の性能目標に対応したものになっておらず、今後の標準改定ではこの表を削除・更新していく必要があることや、今回の対応においても表記載の修正や説明の追記等を考える必要があるとの意見があった。
- ✓ 意見 1 への対応については、リスク専門部会・品質確保分科会と協調し検討していくこととする。
- ✓ 意見 2 への対応については、意見者は解説 3 における“国内原子力発電所での実適用経験がない現状では”という箇所の記載の見直しを求めていると考えられるが、国内原子力発電所での実適用経験がないというのは事実であり記載の修正は簡単ではないという意見があった。

意見者が挙げられている参考文献は国内研究に係わるものであり、この内容を良

く確認して、国内での IRIDM 評価の推進、後押しにつながるような標準記載としてほしいという意見者の意図を汲み取り、該当の文献を附属書 S（参考）における文献引用をすることも考えた上で、解説 3 の当該記載を見直すかどうかも検討していく方針とすることとなった。

- ✓ 本日の議論を踏まえて、事務局を中心に対処案を検討し次回の分科会で確認、審議をする。
- ✓ 追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(5) IRIDM 実施基準案の引用文献及び転載許諾の要否検討状況の確認及び対応の審議 (S3SC21-4)

倉本幹事より、資料 S3SC21-4 を用いて、IRIDM 実施基準案の引用文献の確認及び転載許諾の要否検討の現状が説明され、確認及び審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 転載許諾が要となる可能性のあるものとして、資料 S3SC21-4 により、文献 No.26, 35, 47, 53, 62, 63, 64, 111, 112 があることが説明され、これらへの対応を中心に議論を行った。
- ✓ 文献 No.63, 64 のようなものについては、元文献からの丸々の転載を止めて、新たに図表を作り、許諾が不要となるような対応をしたと説明できる様にするのが良いとの意見があった。
- ✓ 文献 No.47, 53 の米国 NRC のドラフトレポートからの転載については、以前のバージョンの報告書、もしくは別の報告書 (SECY 報告書) からの転載とすれば許諾不要とできるので、そのような対処ができるものはするのが良いとの意見があった。
- ✓ 文献 No.26 の原子力安全・保安院のレポートの転載許諾の問い合わせ先は、原子力規制庁でもないとの意見があった。No.26 を基とした IRIDM 実施基準案の図 J.1 については、文献を参考に図を作成したということで、転載許諾不要とする方向で対応を行う様にする。
- ✓ 文献 No.112 の規制庁資料については、海外文献での情報を元として翻訳したものであり、参考文献としては、二次文献を記載はできず、元文献を記載する必要があるとの指摘があった。
- ✓ IRIDM 実施基準案の P.148 表 T.4 の参考文献からの引用記載で“Table 3.2.9 を参考に作成”というのは誤りで、“Table 3.2 を参考に作成”とすべきとの指摘があった。
- ✓ 本日の議論を踏まえて、事務局を中心に対処案を検討し、次回の分科会で確認、審議をする。
- ✓ 追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(6) 定期安全レビュー標準の扱いの議論 (S3SC21-5, 添付資料)

倉本幹事より、資料 S3SC21-5 を用いて、定期安全レビュー標準の扱いに関する今後の対応方針につき説明され、審議を行った。また鈴木委員より、添付資料を用いて、現在の事業者における安全性向上評価届出書の概要に関するの情報提供があった。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 資料 S3SC21-5 の記載内容には特にコメントは無く、PSR2009 標準の廃止を含めてシステム安全専門部会及び標準委員会に提案していくことが分科会として了解された。
- ✓ システム安全専門部会及び標準委員会において、PSR2009 標準の廃止の決議も求めるのであれば、この資料とは別に廃止決議のための資料を提出し説明をするのが良いとの意見があった。

(7) PSR+指針技術レポートの検討状況の確認及び議論 (S3SC21-6)

倉本幹事より、資料 S3SC21-6 を用いて、PSR+指針技術レポートの検討状況が説明され、審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ PSR+指針は 5 年の定期改定検討の時期を迎えていることでもあり、どのような方向で改定をしていくかについても技術レポートで触れ、それに基づき改定検討を行っていくのが良いのではないかという意見があった。
- ✓ SSG-25 も今後改定されるようなこともあるかもしれない、現状での記載をまとめ、できるだけ早くの発行を目指すべきであるとの意見があった。
- ✓ 現在検討している PSR+指針の解説記事を指針の改定に活かすものもあろうし、また今回の作業において改定に反映すべき事項も幾つか挙がっており、それらは PSR+指針の改訂において有効に活用しなくてはならないことを確認した。
- ✓ 安全性向上評価での先行電力における活動からのフィードバック等を、今後の改定を含めて技術レポートに反映していくことも考えていく必要があるとの意見があった。
- ✓ 本日の議論も踏まえて、検討チームにおいて技術レポートの検討を進め、次回の分科会で再度確認、審議をする。
- ✓ 追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(8) 今後の予定、その他 (S3SC21-7)

倉本幹事より、今後の検討スケジュールについて説明があった。

次回の分科会 (第 22 回) 開催については、8 月上旬目途で、本日欠席の委員の方の予定も確認した上で決定することとした。

以 上